夕刊 十八日
岩城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四　編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　印刷　福島縣石城郡平町紺屋町十四　發行所　岩城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢　廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

本年の忠魂祭は 例年より盛大に執行

町村議員大會は四月中旬 きの町村長會で決定

石城郡町村長會では十七日總會の基本調査を行ふことなり十七を開き平町に設置さるゝ事になつた蠶業取締所に對する寄附、優良町村役場吏員表彰、その他を協議した後來る四月中旬櫻花爛漫の候を期し石城郡各町村の議員大會を開催する事に決定した石城郡の議員數は五百十名で同日は少くとも四百七八十名が參會する事となり、本春各種の會合中最も盛大を呈するものと察せられてゐる、又町村長會で毎年執行してゐる四月十日の石城郡招魂祭は滿洲上海兩事變勃發に鑑み例年より盛大に執行する事となり豫算を百圓增加し八百五十圓とした。

▲内郷村陪審員

石城郡内郷村における本年度の陪審員候補は左の通りである。

山崎喜一、齋藤直重、長谷川國次郎、草野政次郎、網掛豊作、遠藤一二、西倉長太郎、鈴木吉松

▲林野基本調

縣山林課では來る二十二日から九日間の豫定で石城郡下渡邊、泉、磐崎、湯本、玉川、江名、鹿島、豊間、高久の九ケ村に亘り林野成を待つて本年度から同上水道

内郷裁縫校改稱

石城郡内郷村内郷裁縫女學校は四月より内郷家政女學校と改名し本科別科の外高等科を增科し實業補習學校規定により實業に從事し或ひは從事せんとする女子に對し實業に關する智能を授け國民生活に須要なる教育を行ふ。

平機關庫の用水 水道使用見合せ

當局の豫想的外れ

平機關庫では現在同驛附近一帶の鐵道用水として使用中の大工町地先高架水槽の水は小川江筋から揚水したもので元來が灌漑用水なので列車器具に化學的惡影響を與へる模樣なので近く通水する平町上水道擴張工事の完成を待つて本年度から同上水道

石城の酒造界

石城地方の酒造界は從來炭礦酒とまで稱され炭礦方面の需要は莫大なものであつたが、最近炭礦地帶の不振によりこの方面の需給關係が減少し一面釀造期における米價騰貴等によつて自然仕込高を縮少したので數年前の好況時に比し約五割方の減徹をもせず有耶無耶の中にあり、役場事務上不便を來らしてゐるの

村長問題

泉村採める

石城郡泉村長中村立躬氏は去る三日の村會席上辭職を申し出で村會はこれを承認したが、その後辭職届も提出せず事務引繼ぎ日出丸は依田、岩倉、伊藤各少

滿洲日出丸

平町に開演

軍事浪曲界の覇と稱せられ久しく滿洲、關東洲にあつて公演しつゝあつた滿洲日出丸師は近く石城郡地方民の希望に應じ聚樂

久濱に漁業爭議

四倉署で嚴重警戒

賃銀問題で形勢險惡

双葉郡久之濱町大敷網新妻漁場十六人夫れぞれ申渡したので漁夫團は憤慨し十七日未明同所海岸に集り新妻漁場の漁船四隻に對し立て籠つて未拂賃銀の即時支拂の要求決議をなし形勢險惡なので所轄四倉署で警戒中

新職業戰線へ

乘り出す新女性

平町の兩産婆看護婦學校で相前後して卒業式

平町一丁目石城看護婦産科婦學校卒業式は明十九日午後一時から、南町平産婆看護婦學校第二十五回卒業証書授與式は二十日午後一時から擧行されるゝが兩校から職業戰線へ巢立つ新女性左の如くである。

平町南町

▲看護婦（イロハ順）

狩猪イク　狩猪ソヨ　伊藤チシマ子　草野ハナ子　柳沼タツ子　松本重子　松本タツ子　深谷セツ　小林千代　小林キヨ　甲高マス　鐵久子　新家はる　安部はる　赤津ハル　網代千代　我妻ツネ　佐藤文子　坂本君子　齋藤靜子　齋藤ミナ　木村靜枝　桐原サダ　油座仲子　目黒清子　見上タイ　見瀧ミツ　宮本シケ　宮本トミ　柴崎キク　志賀トメ　鈴木ハツ　鈴木サタ　鈴木セキノ　以上六十五名

▲産婆

千葉清子　折笠キヨ　大友トミ　大賀雪子　小野キヨ　渡邊俊子　渡邊愛子　若松ムラ　河村キヨ　吉田ミネ　田久榮子　田島リウ　高橋カツ　高橋うた　永山サヨ　鵜沼タツ　遠藤文子　野川アサ　草野ハナ　草野サタヨ　松本重子　松本タツ　深谷セツ　小林千代　甲高マス　鐵久子　安部ハル　荒垣ヨネ　網代千代　新家はる　齋藤靜子　佐藤文子　桐原貞　木村靜枝　目黒キヨ　宮本トミ　宮本末子　柴崎キク　鈴木ハツ　以上四十一名

平町一丁目

▲看護科（イロハ順）

飯島タマヨ　猪狩ヨシ子　箱崎キヌ　箱崎アイ子　橋本千代　橋本茂子　大平シゲ　岡崎石子　岡田カヲ子　岡田カツ　大平ノブ　大友愛子　渡邊トシ子　金成クニ　生田目マサ　遠藤千代　遠藤歌子　國玉富美子　矢内デン　矢口君子　山部常子　松崎ヨシ　松本ハル　船生喜代　安藤陸子　荒ハル　三戸ハマ　佐伯マサキ　佐藤愛子　菊地愛　綠川マサ子　白土シイ　志賀キヨ子　平山アヤ子　瀧谷ミドリ　鈴木ハナ　鈴木タケ　鈴木ミツ子　鈴木ミツエ　杉浦イチ子　（以上四十三名）

▲産婆科

飯島タマヨ　猪狩ヨシ子　箱崎キヌ　橋本茂子　橋本千代　箱崎愛子　大平シゲ　岡崎石子　岡田カツ　岡田カヲ子　大平ノブ　大友愛子　渡邊トシ子　吉田ツヤ子　生田目マサ　遠藤歌子　矢内デン　山部常子　卷幡ミツ　松本ハル　船生喜代　天野クニ　安藤陸子　荒ハル　佐伯サキ　佐伯マサ　佐藤チヨノ　佐藤愛子　綠川マサ　下藤ミヨミ　志賀キヨ　鈴木ヒロエ　鈴木ミツ　鈴木ハツヨ　杉浦イチ子　鈴木ミツエ　（以上四十七名）

無錢飲食をした上 短刀で暴れ廻る

當時住所不定無職香川縣三豊郡全羅南道咸平郡平陵面生れ土工託間村生れ曾利高松（六二）は十吉田太郎事季平喜（三六）外二名七日午後十時頃平町新川町飲食は十七日午後九時半頃同村内町店好喜屋事丹野ヤイ方で泥酔し字駒谷中里基一事朴基善方で花一圓余の無錢飲食をなし逃走しやうとしたので勘定を請求すると隠し持つてゐた短刀で斬りかゝつたので家人は近隣に救ひを求めた、急報により平署員駈けつけ取押え留置中である。

▲鮮人の賭博

石城郡内郷村大字高坂字御殿居住朝鮮

▲平の警火宣傳

平署主催警火協議會は十七日午後六時から同署に開會協議の結果今十八日を期し同町始め消防組合火防組合、青年團總出動して全町に亘り竈の一齊檢査をなした

生徒募集

時代に適した婦人の職業

産婆、看護婦

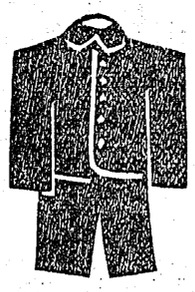
◆……卒業一ケ年
◆……申込四月八日迄
◆……入學無試驗

平町南町

平産婆看護婦學校

校長　清野キヨ

電話三〇七番



通學服賣出

新學期が近づいてまいりました。坊チヤマ・嬢チヤマの可愛らしい通學服を色々取揃へました。

◆男兒用
小倉服……0.85ヨリ
同特製……1.70ヨリ
紺サージ……3.40ヨリ

◆女兒用
紺セルセーラー服…2.60ヨリ
綿セルセーラー服…1.10ヨリ

防水マント種々取揃へて御座ひます。

ふかや洋服店　平三電203

◎革靴自製部新設

注文靴。修繕靴

親切。叮嚀。請合

◎高級ゴム長靴
◎五圓均一靴
◎各種鞄類

マルトモビル内

菊地靴店

電話（呼）四三六

◎レコード破りの**石炭大特賣**

磐城炭礦二等炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

◎「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度超破格の格安石炭を販賣開始致します
◎値が安くとも品は惡くはありません
◎磐城炭礦の處分的大堀出物です、品物の無くならない中に御注文下さい
◎配達は一俵より致します

御註文は

電話二三七番へ

平停車場前

◎ソ **阿部石炭商店**

かまぼこ製造

儀式用

折詰蒲鉾

平町一丁目

お惣菜用
さつま揚
吉原揚

天藤商店

電話一四一番

外科

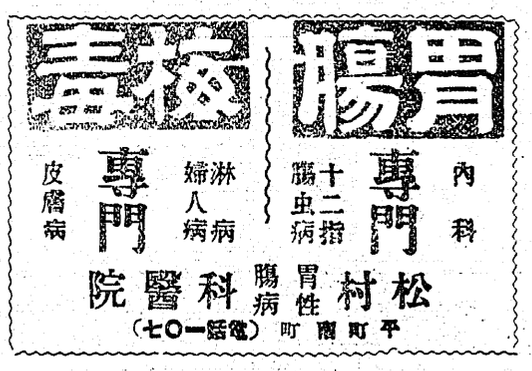
一般外科　內臟外科
性病科　X光線科

入院隨意（自炊の便あり）

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五



謝近火御見舞

今曉近火の際は早速御駈付消火に御盡力被下御蔭を以て類燒を免れ候段有難く奉深謝候一々拜趨御禮申上可き筈の處混雜中御尊名伺洩れも可之有乍略儀以紙上御挨拶申述候

三月十七日

平町字仲田町
大野寫眞館
大野憲太郎

平町驛前
住吉屋支店
酒井清

和洋銅鐵金物問屋

◎火 **釜屋商店**

諸橋久太郎
電話九九九番

外科　內臟外科
整形外科
外科一般

產婦人科

醫學士　**松永憲一**

院長　**木村寅次郎**

平町字新川町

木村病院

電話一六四番